

棚卸資産の過大計上

対象受検機関	検出事項							是正を求める事項	措置の内容														
公益財団法人 大阪府保健医療財団	<p>棚卸資産は、年度末の大阪がん循環器病予防センターの各医材料の金額（実地棚卸数量×単価）を集計して計上されているが、実地棚卸数量を集計する過程で、平成27年度に計上すべき4月度納入分（200個）を平成26年度末の医材料として在庫管理表に記載したことにより、貸借対照表上において棚卸資産が1,670,000円過大に計上されていた。</p> <table border="1" data-bbox="427 573 2015 800"> <thead> <tr> <th>品名</th> <th>管理部署</th> <th>単価 (A)</th> <th>在庫管理表の数量 (B)</th> <th>平成26年度末実際数量 (C)</th> <th>差引 (D) = (B) - (C)</th> <th>過大計上額 (A) × (D)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>採便容器TP-BC-B (OCセンサーneo、OCセンサーμ用) G-PZ 42 (シート付)</td> <td>業務課</td> <td>8,350円</td> <td>263</td> <td>63</td> <td>200</td> <td>1,670,000円</td> </tr> </tbody> </table>							品名	管理部署	単価 (A)	在庫管理表の数量 (B)	平成26年度末実際数量 (C)	差引 (D) = (B) - (C)	過大計上額 (A) × (D)	採便容器TP-BC-B (OCセンサーneo、OCセンサーμ用) G-PZ 42 (シート付)	業務課	8,350円	263	63	200	1,670,000円	<p>今後は、同様な事例が発生しないよう原因の把握を行い、適正な事務処理を行われたい。</p>	<p>業務課内で職員からのヒアリングと原因分析を行い、実地棚卸数量の確認を担当者1名で実施していたことが事務処理誤りの原因と把握した。このため、平成28年3月の実地棚卸については、担当者を含め複数の者で現物確認を行った。 今後は、適正な事務の執行に努める。</p>
品名	管理部署	単価 (A)	在庫管理表の数量 (B)	平成26年度末実際数量 (C)	差引 (D) = (B) - (C)	過大計上額 (A) × (D)																	
採便容器TP-BC-B (OCセンサーneo、OCセンサーμ用) G-PZ 42 (シート付)	業務課	8,350円	263	63	200	1,670,000円																	

監査（検査）実施年月日（委員：一年一月一日、事務局：平成27年11月24日から同月25日まで）